

## SXSW EDU 2023の概要

### 開催概要

- 日程：2023年3月6日（月）～9日（木）
- 会場：オースティンコンベンションセンター及びヒルトンオースティン（米国テキサス州）
- 形式：本イベントでは、複数会場において同時多発的に複数のセッション等が開催される。開催形式は細かくは下記に分類される。
  - **セッション**：講演/パネルディスカッション形式で、1人/複数の登壇者により教育方法や教育業界における問題等に関する説明や問題提起等がなされる。各日のメインとなる大規模なセッションはKeynoteと呼ばれ、著名人が登壇する他、手話による同時通訳とリアルタイム字幕が整備されている。セッションでは、専用アプリからのリアルタイムでの質問が可能である。
  - **ワークショップ**：登壇者による説明がなされたのち、グループディスカッションやグループワークの時間が設けられ、参加者の主体的な参加を求められる。
  - **ネットワーキングイベント/ミートアップ**：特定のテーマに関心のある参加者が会場に集められ、一定のファシリテーションの下、自由に会話する。
  - **コンペティション**：一般及び学生スタートアップのピッチコンテストが開催され、投資家による審査が行われる。審査発表は当日中に行われる。
  - **展示**：事業者や大学による研究、商品やサービスの紹介がブース形式で行われる。担当者が常駐し、オリジナルグッズや体験による誘客がみられた。
  - **メンタリング**：教育関係の専門家（高等教育・ビジネス・SEL等）と個別にディスカッションをしたり助言を得ることができる。各12分スロットで、事前に希望するメンターに対して公式アプリを通じて予約をする必要がある。
  - **フィルム**：大規模会場のスクリーンで1時間程度の上映がなされる。英語字幕が付く。
  - **パフォーマンス**：音楽や演劇などの上演がなされる。メッセージ性の強いものが多い。



会場の様子  
（オースティンコンベンションセンターの外観とロビー）

# #1\_Institution for a Global Society株式会社

---

# 【#1\_Institution for a Global Society株式会社】

#	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
DAY1 (Mon)		Keynote: Teaching America		Developing & Assessing Creative Skills with AI		Trading Places: from Private Sector TO Public Ed	Social Emotional Learning & Robotics		STEAM Meets SEL: Building Empathy Through Data			
DAY2 (Tue)	Coffee Break	DESIGN- BASED LEARNING UNWRAPPE D: Build Our Future		Launch Startup Competition		Why SEL Products Hit of Miss the Mark	Verifying Qualified Candidates: Proof of Skills		Equitable Assessment: Missing Elements & Solutions			
DAY3 (Wed)	Coffee Break			Competency Works PCBE Meet Up		Designing Credentials for Innovative School Models	What Is Equitable EdTech Product Design?			Japan Meetup		
		EXPO										
DAY4 (Thu)		Data Training in a Web 3.0 Future		A New Era of Learning & Mobility at Work		Keynote: Safer Schools	SXSW EDU Closing Party		事務局と振り返り			

## 【#1\_Institution for a Global Society株式会社】

## ■ 事業者情報

事業者名	Institution for a Global Society株式会社		
事業者HP	<a href="https://www.i-globalsociety.com/">https://www.i-globalsociety.com/</a>		
所在地	東京都渋谷区		
設立／社員数／ 教育事業の段階	2010年設立	社員数 約50名	教育事業段階 単体で黒字化済
事業概要	学校法人、企業、自治体など向けに、能力評価システム、教育コンテンツ、データ利活用プラットフォームを提供。教育・EdTechサービスのコアである「Ai GROW」（アイグロー）は、「見えない学力」（潜在的な性格やコンピテンシーなど）を可視化する人材評価システムで、対生徒では、メタ認知の機会の提供、自己肯定感・自己効力感を高めることなどに寄与、対教育者では、「見えない学力」の定量化により、生徒を公平かつ多面的に評価する「観点別評価」の実現を支援する。		

## ■ 参加者情報

参加者名	中原 成美（Narumi Nakahara）
役職・部署	執行役員Co-CFO 経営企画部長

## 【#1\_Institution for a Global Society株式会社】

### ■ 参加目的

SXSW EDU2023  
で達成したいこと

弊社サービス「Ai GROW」などの海外展開を見据え、グローバルの最新トレンドおよび需要、競合環境、販売パートナーについて検討材料を収集したい。特に、テクノロジーを活用した非認知能力の評価や育成に関して検証したい。

SXSW EDUへの  
具体的な参加目的

Ai GROWという非認知能力の評価サービスを日本国内で展開しており、2023年1月末現在40都道府県で導入実績がある。今後の海外展開を見据えて、需要の把握（国や地域の特定）、非認知能力評価の類似サービスや競合環境およびUI/UXのトレンドについての情報収集を行う必要性を感じている。  
そのため、SXSW EDU2023では主に能力評価、ゲーミフィケーション、ダイバーシティに関するセッションやミートアップに参加し、テクノロジーの活用によって多様な能力の評価・育成を目指す人材と意見交換をすることで、上記を検証したい。

### ■ 目的達成のための準備事項

参加に向けた準備事項

- プレゼンテーションの準備・練習（エレベーターピッチ（1分版））
- デモンストレーションの準備（5-10分版）
- 商談にむけた営業資料の作成
- 他社サービスの比較のための共通フォーマット作成

## #1\_Institution for a Global Society株式会社

## ■ 概要①

## SXSW EDU2023の感想

ハイライト：全米から教師が集って労いあい、よりよい教育を実現するためのカリキュラムデザインやネットワーキングの機会が用意され、非常に活気がある。Keynote、セミナー、ワークショップ、Meetupなど、イベントのカテゴリーも複数あり、インプット・アウトプットのバランスがいい。積極的にアウトプットせざるを得ない環境に身を置き、自分やサービス、日本のことを話す機会があり、フィードバックを受けられる場であることが非常に有難かった。サービス開発におけるユーザーアイデンティティの考え方、そこから発展してEquityの担保について非常に苦心されていることなどが特に印象的だった。

ローライト：事業者側の視点では、少なくともDistrictレベルの意思決定者とコンタクトしない限り、単純な情報交換で終わってしまうが、実際に意思決定者にサービス紹介をする機会がほぼなかった点は残念だった。参加者が非常に多いため、たまたま目当ての人物像に出会える可能性はかなり低く、事前に個別面談を設定できればよかったと反省。高等教育では米国はいまだに世界の最先端・頂点にいると思うが、伝統的なPre-K～K-12では教師が生徒に教え評価すべきという価値観が一般的で、当社が目指す「生徒同士の相互評価」のハードルは結構高そうな印象。



Keynote（1日1回、最大の会場で行われ、有名人が来ることもある）



Panel（テーマに沿って、有識者が話す。聴衆からのQ&Aもあり、質問が多く出る）



Workshop（丸テーブルで、テーマに沿って議論・実践する）



Competition（Startupなどによるコンペで、ファイナリストが投資家や聴衆の前でピッチを行う）

## 【#1\_Institution for a Global Society株式会社】

## ■ 概要②

参加目的の達成度	<p>(参加目的) サービスの海外展開を見据え、グローバルの最新トレンドおよび需要、競合環境、販売パートナーについて検討材料を収集する。特に、テクノロジーを活用した非認知能力の評価や育成に関して検証したい。</p> <p>(仮説検証の結果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 公立学校の校長や新しいタイプの学校（先生がいない）の経営者、事業者、米国の教員との個別の議論やセッションを通じ、米国のトレンドは概ね把握できたが、グローバルについての情報は乏しかった（参加者の属性の偏り）。</li><li>• 当社サービスの競合となるような特定のサービスはなかった一方で、市場自体もまだ確立されていない印象。啓蒙・ニーズの掘り起こし・営業活動が必要と感じた。</li><li>• 既に米国含めサービス展開済みで、分野が直接被らない補完パートナー候補は数社あったが、具体的なパートナーシップについて商談できる意思決定者が不参加で、後日のメール問い合わせからのスタートとなった点が残念である。</li></ul>
現地での発見 他イノベーターに向けて	<ul style="list-style-type: none"><li>• 米国と言っても50州それぞれが国のようなものであり、人種も多様であることから日本以上にサービスデザインにおけるアイデンティティへの配慮などが重要になる。</li><li>• どういう人と話せるかは運による部分も多いが、自分のやっていることや疑問を端的に伝えることが重要と感じた。</li><li>• 完全に新規のビジネスやサービスは見当たらない（全て何かの二番煎じと見られる）中、差別化ポイント、社会に与えるインパクト、マネタイズの方向性など、基本的なポイントは大前提として押さえてから参加すべきと感じた。</li><li>• 現役教師にとっては、カリキュラムデザインの参考になるワークショップ等が多く、より学びが大きそうである。</li><li>• 日本から参加する場合、そもそも知名度に大きな差があるので、国際的に知られた団体との取り組みや認証があるとアピールしやすいと思う（UNICEFなど）。</li></ul>
事前準備について	<ul style="list-style-type: none"><li>• 関心を寄せるテーマについてのボキャブラリーを幅広く持っておくのがよい。特に、日本語とは定義の幅も違うので、より広くアンテナを張り、セッションの目星をつけるのがよい。</li><li>• 事前に日本でアクセスできる現地教育関連情報は非常に限られるので、SXSWのセッションをくまなく目を通して大まかなトレンドを先につかむのもよい。</li><li>• ただし実際には、現地入り以降に参加すべきセッションの肌感覚が徐々に掴めていった部分が大きく、当初の計画を変更して、関係者との意見交換目的でテーマを絞ったMeetupやCoffee Breakなどに積極的に参加した。</li></ul>

## 【#1\_Institution for a Global Society株式会社】

### ■ Developing & Assessing Creative Skills with AI

#### セッション等概要

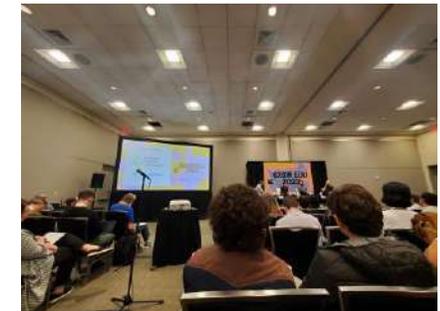
11:30-12:30

@Room 12AB, ACC

子どもたちが創造的な遊びを通して必要なスキルを身につける方法と、創造的スキルと認知的スキルの成長を評価するための新しい方法についてのパネルディスカッション。

#### 感想、得たもの等

網羅的な評価方法はないという前提でパネルが進み、競合に関する目新しい情報はなかったが、プライバシー保護、評価の楽しさ、言語の壁、教師の負担は共通課題であると確認。



### ■ Social Emotional Learning & Robotics

#### セッション等概要

13:30-15:00

@Salon E, Hilton

社会的情動の学習（SEL）について、教室ですぐに使える具体的なアイデアとリソースについてのワークショップ。

#### 感想、得たもの等

参加者は主に教師で、授業デザインの参考に受講していた。ロボットを介在させることで客観的に質問・意思表示をさせられるメリットがあると感じたが、競合調査には至らなかった。



### ■ STEAM Meets SEL: Building Empathy Through Data

#### セッション等概要

15:30-17:00

@Salon D, Hilton

生徒がデータに関わることで、共感力を高め、批判的に考え、データに基づいた質問をする意欲を高めるためのリソースを紹介する実践的なワークショップ。

#### 感想、得たもの等

参加型の授業でリアルデータを構築し議論をする場合でも、アナログ・デジタルの選択肢があり、現場の教師の意見も担当する学校種別で大きく違うのが印象的。



## 【#1\_Institution for a Global Society株式会社】

### ■ Coffee Break

#### セッション等概要

9:00-10:00

@Exhibit Hall 4, ACC

ネットワーキング（Acton Academy Fort Lauderdale創業者との議論）

#### 感想、得たもの等

生徒主導の教育を実践する「Acton Academy」の1校舎の運営者と議論。既にPeer Assessmentを実践（Google form活用）も、「伝統的」な教育システムは画一的なので概念的に合わないかもしれないとの助言あり。



### ■ Launch Startup Competition

#### セッション等概要

11:30-13:00

@Exhibit Hall 4, ACC

フィードバック、投資、戦略的パートナーシップ、露出を求める起業家が、業界エキスパート、アーリーアダプター、投資家、教育者、そしてSXSW EDUのライブオーディエンスの前でプレゼン。

#### 感想、得たもの等

「差別化ポイント」「マネタイズ」「インパクトの測定」など、投資家が一般的に注目するポイントがクリアになった。紹介サービス自体に目新しいモデルはなかったが、プレゼンはうまい。



### ■ Verifying Qualified Candidates: Proof of Skills

#### セッション等概要

14:30-15:30

@Room 9AB, ACC

学位でなく、将来の従業員の質を保証するスキルとその評価についてパネリストが議論。

#### 感想、得たもの等

技術的スキル（個社・個別の職種に限定されるスキル）より汎用スキル（サービススキル）が重要という点は共通認識とわかったが、その評価方法についての詳細は不明。



## 【#1\_Institution for a Global Society株式会社】

### ■ Coffee Break

#### セッション等概要

9:00-10:00

@Exhibit Hall 4, ACC

ネットワーキング（バージニア州アレクサンドリアの公立小学校の校長との議論）

#### 感想、得たもの等

地域単位でのトップダウンの意思決定、州やDistrictごとの予算規模の違い、先進的な州では既にLMSなどの一般的なシステムは配備済みで切り替えには積極的な営業が必要なこと、SELはまだ途上で明確な定義がなく評価手法が未確立であることなどが実例から理解できた。



### ■ CompetencyWorks PCBE Meet Up

#### セッション等概要

11:30-12:30

@ Room 406, Hilton

コンピテンシー・ベース教育の最新動向と課題について話し合い、ネットワークを広げ、この教育の未来のビジョンを推進する方法についてブレインストーミングを行う。

#### 感想、得たもの等

最も参考になったセッション。2012年→2021年で各州のCBPEポリシーは大幅改善も、統一的な評価はなく、大人（教師、地域住民、家族など）が評価するスタンスが根強い印象。



### ■ What Is Equitable EdTech Product Design?

#### セッション等概要

14:30-15:00

@ Salon J, Hilton

GoGuardianの取り組み（製品やアイデアの革新が可能な場所の特定、包括的で多様なチームの構築、包括的な製品設計など）を紹介。

#### 感想、得たもの等

サービス設計において考慮すべきとするアイデンティティの幅が、日本でのサービス開発に比べて非常に広い印象。海外展開する際には、各国の母国語以外への配慮も必要。



## 【#1\_Institution for a Global Society株式会社】

### ■ Data Training in a Web 3.0 Future

#### セッション等概要

10:00～ @ Room 9AB, ACC

「Workforce Wanted」の調査結果を紐解きながら、Web3.0の世界におけるデータ人材育成の将来像を描く。ディスカッションでは、多様なデータ人材を育成するための製品イノベーション、倫理的かつ公平な政策、オープンソースのカリキュラムが持つ力を探る。

#### 感想、得たもの等

大学レベルでは、データサイエンティストの育成から、ヘルスケア分野のデータサイエンスなどより領域特化の方向にシフトしているという点、データサイエンスやVR/ARなどを活用してマイノリティを引き上げ格差を是正する可能性についての言及が参考になった。



### ■ A New Era of Learning & Mobility at Work

#### セッション等概要

11:30～ @Room 12AB, ACC

PepsiCoやJPM Chaseなど革新的な企業の取組（学習、能力開発、昇進など）について紹介し、公平なキャリア機会と流動性につながるスキルや経路を活用する方法を検討。

#### 感想、得たもの等

人間の行動やそれを基にしたAIにおけるバイアスや、個人の評価や判断は不完全であるという前提に立つのが重要である点、そして個社に特化した資格ではなくモビリティのある汎用的な資格に投資することが社員にとっての魅力と忠誠心に繋がるという点に非常に同意。



### ■ Keynote: Safer Schools: Students, Educators, & Mental Health One Year After Uvalde

#### セッション等概要

13:00～ @Ballroom D, ACC

2022年5月にテキサス州ユバルディの小学校で発生した銃乱射事件の犠牲者の親族及び各界の専門家が、学校の安全確保やメンタルヘルスへの社会的対処について意見交換。

#### 感想、得たもの等

内容の悲惨さに耳を背けなくなったが、「銃規制」に対する抵抗の強さを直接的に肌で感じる機会になった。全セッションの中で最も政治性の強いテーマとして「個人の自由」vs「学校・生徒・教員の安全」に言及しており、米国の政情を知るうえで有益なセッションだった。

